

## スナップエンドウ目揃え会

6月11日(木)、スナップエンドウの目揃え会が船越多目的施設で開かれました。出荷規格や集荷スケジュール、収穫期の病害虫防除などを学び、高品質なスナップエンドウの出荷への意識を高めました。

生産者ら約40名が参加し、各等級のスナップエンドウを定規などで測りながら、さやの厚さや傷の有無、がくの状態などの品質基準を確認しました。

参加者は意見交換に盛り上がった様子で、農薬の使用時期についての質問も上がりました。男鹿地区営農センターの担当者は「農薬の散布期限や使用回数に注意しながら、病害虫防除に励んでほしい」と呼び掛けました。

## 枝豆現地研修会

6月19日(金)、枝豆の現地研修会が秋田市雄和の(農)平沢ファームの圃場で行われました。生産者ら約30名が令和2年度の生育状況を確認し、圃場を見ながら病害虫防除や作業スケジュールなどについて意見を交わしました。

秋田地区営農センターの担当者は収穫期前の管理方法や共選場の稼働計画などを説明し、「雑草対策として中耕を2回行うことが望ましいが、開花期までには終えるように。べと病や害虫対策の防除を徹底して、多収かつ良質な生産を目指してほしい」と呼び掛けました。

今年度の管内の栽培面積は73.6ヘクタールで、7月中旬から順次出荷されます。



さやの状態を確認する参加者



枝豆の圃場で意見を交わす生産者

## NEWS & TOPICS

## 直売向け野菜栽培講習会

6月23日(火)、直売所への出荷に向けた野菜の栽培講習会が、追分生活センターと雄和支店で開かれました。(株)高井南茄園の金野豊秋常務を講師に、多様な品種の特性や栽培管理、生産資材などを学びました。

金野常務はこれから栽培する秋冬野菜を中心に、生育時期や売れ筋、加工品への使用適性といった各品種の違いや、畑作向けの肥料などを説明しました。秋田地区営農センターは、直売所の販売実績や出荷時の注意事項、来店者から寄せられた意見や感想を報告しました。

生産者からは、同じ場所に異なる野菜を植えるときの施肥方法や珍しい野菜の食べ方など、様々な質問が上がりました。

## 県内産花きのスタンド・アレンジメントが登場

秋田県産の花きを使用したフラワースタンドやアレンジメントが、当JAの事業所内を彩っています。父の日を目前に控えた6月16日(火)には、ヒマワリやバラなどが鮮やかなスタンドとアレンジメントが、JA秋田なまはげ会館1階のロビーと矢留支店に設置されました。

秋田花の国づくり推進協議会による取り組みで、秋田県内の花き生産者が丹精込めて作った花を、地元生花店が心を込めて生けたものです。

今後も、様々な県内産花きが定期的に登場します。見かけた際には、ぜひ秋田の花の魅力を楽しんで、SNSなどで「#秋田県のお花」を投稿してみてください。



ケイ酸質資材を紹介する金野常務



JA秋田なまはげ会館ロビーのフラワースタンド